

一般用 H₂ブロッカー胃腸薬

ガスター10 S錠

- ・3日間服用しても症状の改善がみられない場合は、服用を止めて、医師または薬剤師にご相談ください。
- ・2週間を超えて続けて服用しないでください。
(重篤な消化器疾患を見過ごすおそれがありますので、医師の診療を受けてください。)

ガスター10 S錠の特徴

「ガスター10 S錠」は、胃の症状の原因となる「胃酸」の出過ぎをコントロールし、胃粘膜の修復を早めるお薬で、胃酸中和型の胃腸薬とは異なるタイプの胃腸薬です。

本剤は口の中の水分を含むと速やかに溶け崩れ、水なしでも服用できる口中溶解タイプのお薬です。



使用上の注意



してはいけないこと (守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる)

1. 次の人は服用しないでください

- (1) ファモチジン等のH₂ブロッカー薬によりアレルギー症状(例えば、発疹・発赤、かゆみ、のど・まぶた・口唇等のはれ)を起こしたことがある人。
- (2) 医療機関で次の病気の治療や医薬品の投与を受けている人。
血液の病気、腎臓・肝臓の病気、心臓の病気、胃・十二指腸の病気、ぜんそく・リウマチ等の免疫系の病気、ステロイド剤、抗生物質、抗がん剤、アゾール系抗真菌剤
(白血球減少、血小板減少等を起こすことがあります。)
(腎臓・肝臓の病気を持っている場合には、薬の排泄が遅れて作用が強くなりあわれることがあります。)
(心筋梗塞・弁膜症・心筋症等の心臓の病気を持っている場合には、心電図異常を伴う脈のみだれがあらわれることがあります。)
(胃・十二指腸の病気の治療を受けている人は、ファモチジンや類似の薬が処方されている可能性が高いので、重複服用に気をつける必要があります。)
(アゾール系抗真菌剤の吸収が低下して効果が減弱します。)
- (3) 医師から赤血球数が少ない(貧血)、血小板数が少ない(血が止まりにくい、血が出やすい)、白血球数が少ない等の血液異常を指摘されたことがある人。(本剤が引き金となって再び血液異常を引き起こす可能性があります。)
- (4) フェニルケトン尿症の人。(本剤はアスパルテーム(L-フェニルアラニン化合物)を含んでいます。)
- (5) 小児(15歳未満)および高齢者(80歳以上)。
- (6) 妊婦または妊娠していると思われる人並びに授乳中の人。

2. 本剤を服用している間は、次の医薬品を服用しないでください

他の胃腸薬



相談すること

1. 次の人は服用前に医師または薬剤師にご相談ください

- (1) 医師の治療を受けている人または他の医薬品を服用している人。(2) 本人または家族がアレルギー体質の人。(3) 薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人。(4) 高齢者(65歳以上)。(一般に高齢者は、生理機能が低下していることがあります。)
- (5) 次の症状のある人。のどの痛み、咳および高熱(これらの症状のある人は、重篤な感染症の疑いがあり、血球数減少等の血液異常が認められることがあります。服用前にこのような症状があると、本剤の服用によって症状が増悪し、また、本剤の副作用に気づくのが遅れることがあります。)原因不明の体重減少、持続性の腹痛(他の病気が原因であることがあります。)

2. 次の場合は、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師または薬剤師にご相談ください

(1) 服用後、次の症状があらわれた場合。

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ、はれ
循 環 器	脈のみだれ
精神神経系	気がとおくなる感じ、ひきつけ(けいれん)
そ の 他	気分が悪くなったり、だるくなったり、発熱してのどが痛いなど体調異常があらわれる。

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐにじんましん、浮腫、胸苦しさ等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、息苦しさ等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (ステイブンス・ジョンソン症候群) 中毒性表皮壊死症 (ライエル症候群)	高熱を伴って、発疹・発赤、火傷様の水ぶくれ等の激しい症状が、全身の皮膚、口や目の粘膜にあらわれる。
横紋筋融解症	手足やかろだの筋肉が痛んだりこわばったりする、尿の色が赤褐色になる。
肝機能障害	全身のだるさ、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)等があらわれる。
腎機能障害	発熱・発疹、全身のむくみ、血尿、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる。
血液障害	のどの痛み、発熱、全身のだるさ、顔やまぶたのうらが白っぽくなる、出血しやすくなる(歯茎の出血、鼻血等)、青あざができる(押しても色が消えない)等があらわれる。

(2) 誤って定められた用量を超えて服用してしまった場合。

3. 次の症状があらわれることがありますので、このような症状の継続または増強がみられた場合には、服用を中止し、医師または薬剤師にご相談ください 便秘、軟便、下痢、口のかわき

効能・効果

胃痛、胸やけ、もたれ、むかつき（本剤はH₂ブロッカー薬を含んでいます。）

《効能・効果に関連する注意》

効能・効果に記載以外の症状では、本剤を服用しないでください。

用法・用量

胃痛、胸やけ、もたれ、むかつきの症状があらわれた時、次の量を、口中で溶かして服用するか、水またはお湯で服用してください。

年 齢	1 回 量	1日服用回数
15歳～80歳未満	1 錠	2回まで
15歳未満	服用しないこと	
80歳以上		

- ・服用後8時間以上たっても症状が治まらない場合は、もう1錠服用してください。
- ・症状が治まった場合は、服用を止めてください。
- ・3日間服用しても症状の改善がみられない場合は、服用を止めて、医師または薬剤師にご相談ください。
- ・2週間を超えて続けて服用しないでください。

《用法・用量に関連する注意》

- (1) 用法・用量を厳守してください。
- (2) 本剤は口腔内で容易に崩壊しますが、口腔の粘膜から吸収されることはないので、唾液または水で飲み込んでください。通常の錠剤と同様、水やお湯で服用しても効果に変わりはありません。
- (3) 本剤を服用の際は、アルコール飲料の摂取は控えてください。（お薬はアルコール飲料と併用しないのが一般的です。）

(4) 錠剤の取り出し方

右図のように錠剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押して、裏面のアルミ箔を破り、取り出して服用してください。

（誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながる。）



成分・分量

本品は、白色の錠剤で、1錠中に次の成分を含有する。

成 分	含有量	働 き
ファモチジン	10mg	胃酸の出過ぎをコントロールします。

添加物：エチルセルロース、セタノール、ラウリル硫酸Na、トリアセチン、シクロデキストリン、香料、l-メントール、D-マンニトール、アスパルテーム（L-フェニルアラニン化合物）、アメ粉、ステアリン酸Ca

保管および取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください。（誤用の原因になったり、品質が変わる。）
- (4) 外箱に表示の使用期限を過ぎた製品は使用しないでください。



この薬は決められた時間ごとに服用する薬ではなく、症状が出た時に服用するお薬です。食事による影響はありませんので、食前・食後・食間いつ服用いただいても結構です。1回1錠で約8時間胃酸の出過ぎをコントロールしますので、1日2回服用する場合は8時間以上あけてください。

胃腸の健康を維持するために

暴飲暴食、嗜好品のとり過ぎ、食事を抜く、などは胃腸の健康を害します。このような食生活は避けましょう。また、定期的に健康診断を受けましょう。

本品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店、または下記にお願い致します。

第一三共ヘルスケア株式会社 お客様相談室
〒103-8234 東京都中央区日本橋 3-14-10
電 話 03 (5205) 8331
受付時間 9:00～17:00（土、日、祝日を除く）

ホームページ <http://www.daiichisankyo-hc.co.jp/>

®登録商標



製造販売元

第一三共ヘルスケア株式会社

東京都中央区日本橋3-14-10